



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日
東

上場会社名 株式会社ケアサービス 上場取引所
コード番号 2425 URL <https://www.care.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 俊晴
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 木高 毅史 (TEL) 03-5753-1170
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,730	4.8	189	48.0	199	59.4	111	8.0
2023年3月期第2四半期	4,514	1.5	127	△28.3	125	△34.8	103	△13.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 114百万円(△3.9%) 2023年3月期第2四半期 119百万円(0.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.44	—
2023年3月期第2四半期	27.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,623	2,377	65.6
2023年3月期	3,510	2,316	66.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,377百万円 2023年3月期 2,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,010	8.4	541	25.5	539	13.3	341	5.5	90.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	4,200,000株	2023年3月期	4,200,000株
2024年3月期2Q	406,761株	2023年3月期	406,761株
2024年3月期2Q	3,793,239株	2023年3月期2Q	3,793,239株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み個人消費やインバウンド需要が回復しつつある一方で、継続的な物価上昇や国際的な金融市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

介護業界におきましては、高齢化率が年々上昇し、介護サービスの需要はますます高まっておりますが、サービスを担う人材を適時適切に確保することは非常に難しく、人件費及び採用コストの上昇が続いており、介護人材の採用と定着が引き続き介護事業者の大きな課題となっております。

このような状況の下、当社グループは「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供するための基盤構築を引き続き図ってまいりました。

物価高騰の影響を受け、各サービスにおいて消耗品等のコストが上昇した一方で、採用と研修・教育への注力を継続し、事業の拡大と将来を担う社員の人材育成への投資を行いました。在宅介護サービス事業においては、これまで以上に地域のニーズに合ったサービスの提供と、お客様の介護度や状況に合わせたサービスを切れ目なく提供し、ご利用いただいているお客様やそのご家族の利便性を高めるため、組織体制を改め、サービス間の情報連携の強化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,730百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は189百万円（前年同四半期比48.0%増）、経常利益は199百万円（前年同四半期比59.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は111百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より112百万円増加し、3,623百万円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,826百万円（前連結会計年度末2,705百万円）となり、121百万円増加しました。現金及び預金90百万円の増加、売掛金40百万円の増加が主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、796百万円（前連結会計年度末805百万円）となり、8百万円減少しました。有形固定資産その他（純額）22百万円の増加に対し、建物（純額）6百万円減少、のれん7百万円減少、敷金及び保証金15百万円減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、947百万円（前連結会計年度末906百万円）となり、40百万円増加しました。1年内返済予定の長期借入金12百万円減少、未払法人税等72百万円減少したものの、買掛金12百万円増加、その他134百万円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、298百万円（前連結会計年度末287百万円）となり、11百万円増加しました。退職給付にかかる負債12百万円の増加が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,377百万円（前連結会計年度末2,316百万円）となり、61百万円増加しました。配当金の支払いによる52百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による111百万円の増加が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して90百万円増加し、1,288百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、218百万円(前年同四半期は103百万円の獲得)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益184百万円、減価償却費66百万円、退職給付に係る負債の増加12百万円に対し、法人税等の支払額139百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、36百万円(前年同四半期は8百万円の獲得)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出42百万円、無形固定資産の取得による支出6百万円、敷金及び保証金の回収による収入14百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、92百万円(前年同四半期は99百万円の使用)となりました。これは、長期借入金の返済による支出12百万円、配当金の支払額52百万円、リース債務の返済による支出27百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の連結業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,728	1,288,687
売掛金	1,411,554	1,452,414
その他	96,178	85,856
貸倒引当金	△347	△241
流動資産合計	2,705,114	2,826,717
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	163,113	156,714
その他（純額）	174,623	196,723
有形固定資産合計	337,737	353,438
無形固定資産		
のれん	22,099	14,882
その他	41,107	41,282
無形固定資産合計	63,206	56,165
投資その他の資産		
敷金及び保証金	207,852	192,715
その他	196,814	194,445
貸倒引当金	△187	△13
投資その他の資産合計	404,479	387,146
固定資産合計	805,423	796,750
資産合計	3,510,537	3,623,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,703	144,825
1年内返済予定の長期借入金	12,530	-
未払費用	285,764	287,310
未払法人税等	174,892	102,742
賞与引当金	154,241	131,482
その他	146,672	280,793
流動負債合計	906,804	947,154
固定負債		
退職給付に係る負債	203,233	215,523
その他	84,306	83,105
固定負債合計	287,540	298,629
負債合計	1,194,344	1,245,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,119,036	2,177,606
自己株式	△148,231	△148,231
株主資本合計	2,314,005	2,372,574
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,187	5,109
その他の包括利益累計額合計	2,187	5,109
純資産合計	2,316,192	2,377,683
負債純資産合計	3,510,537	3,623,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	4,514,571	4,730,198
売上原価	3,971,773	4,170,699
売上総利益	542,797	559,498
販売費及び一般管理費	415,003	370,319
営業利益	127,794	189,178
営業外収益		
受取保険金	4,410	4,886
補助金収入	2,031	4,444
助成金収入	5,394	1,256
その他	2,317	1,724
営業外収益合計	14,154	12,311
営業外費用		
支払利息	1,732	1,160
事業所閉鎖損失	1,259	-
為替差損	13,425	534
その他	516	521
営業外費用合計	16,934	2,217
経常利益	125,014	199,273
特別利益		
受取和解金	61,428	-
特別利益合計	61,428	-
特別損失		
事業所閉鎖損失	-	13,341
固定資産除却損	616	950
特別損失合計	616	14,291
税金等調整前四半期純利益	185,826	184,981
法人税等	82,418	73,306
四半期純利益	103,408	111,674
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,408	111,674

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	103,408	111,674
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	15,782	2,921
その他の包括利益合計	15,782	2,921
四半期包括利益	119,191	114,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,191	114,596

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	185,826	184,981
減価償却費	65,932	66,223
のれん償却額	8,349	7,216
固定資産除却損	616	950
受取和解金	△61,428	-
受取保険金	△4,410	△4,886
補助金収入	△2,031	△4,444
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,067	△279
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,125	△22,759
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12,806	12,289
受取利息及び受取配当金	△76	△48
支払利息	1,732	1,160
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,973	△40,525
棚卸資産の増減額 (△は増加)	514	101
その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,583	10,352
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,822	12,122
未払金の増減額 (△は減少)	△1,468	110,867
未払費用の増減額 (△は減少)	3,282	1,545
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9,079	△7,172
その他の負債の増減額 (△は減少)	△50,269	21,275
小計	110,620	348,972
利息及び配当金の受取額	76	48
利息の支払額	△1,731	△1,159
和解金の受取額	61,428	-
保険金の受取額	4,410	4,886
補助金の受取額	2,031	4,444
法人税等の支払額	△72,842	△139,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,993	218,102

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,358	△42,438
無形固定資産の取得による支出	-	△6,397
敷金及び保証金の差入による支出	△5,350	△1,015
敷金及び保証金の回収による収入	3,201	14,768
長期前払費用の取得による支出	△1,924	△2,803
保険積立金の解約による収入	13,614	-
その他	2,237	1,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,418	△36,747
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△37,526	△12,530
配当金の支払額	△37,805	△52,943
リース債務の返済による支出	△24,620	△27,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,951	△92,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,148	2,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,609	90,958
現金及び現金同等物の期首残高	930,352	1,197,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	957,961	1,288,687

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。